

## 令和 6 年第 5 回田上町教育委員会定例会会議録

1. 開会年月日 令和 6 年 5 月 28 日 午後 2 時 00 分
2. 開会場所 田上町役場 会議室 2
3. 出席委員 教 育 長 首藤 和明  
教育委員（教育長職務代理者） 石田 一平  
教育委員 齋藤 美里、渡邊 悦子
4. 欠席委員 教育委員 山田 正夫
5. 職務のため出席した者  
事務局長 時田 雅之、管理指導主事 中野 國芳、副参事 渡辺 真夜子
6. 会議に付した事件
  - (1) 議第 1 号 就学困難な児童生徒に係る就学援助について（非公開）
  - (2) 議第 2 号 田上町学校運営協議会委員の委嘱について
  - (3) 議第 3 号 田上町社会教育委員の委嘱について
  - (4) 議第 4 号 田上町スポーツ推進委員の委嘱について
  - (5) 議第 5 号 田上町青少年問題協議会委員の委嘱について
  - (6) 田上町いじめ問題調査委員会調査報告書の受け止めと対策について（非公開）
  - (7) 諸報告について
  - (8) その他
7. 会議の経過及び結果  
令和 6 年 5 月 28 日午後 2 時 00 分、令和 6 年第 5 回田上町教育委員会定例会の開会を宣言した。本会期を 1 日と提案し、了承され決定した。本日の会議録署名委員に齋藤委員を指名した。

教育長            それでは、ただいまから第 5 回田上町教育委員会定例会を開催いたします。議事に入ります。議第 1 号 就学困難な児童生徒にかかる就学援助についてであります。この議案については非公開としたいと思いますが、よろしいでしょうか。（「はい。」の声あり。）

では、事務局から説明をお願いいたします。

局長            皆さん、大変お疲れ様でございます。それでは、例年認定の審議をお願いして、就学困難な児童生徒にかかる就学援助につきまして、これより説明をさせていただきます。説明の方は、渡辺副参事の方からさせてい

たいただきますので、お願いいたします。

---

(以後、非公開)

---

教育長            続いて、議第 2 号 田上町学校運営協議会委員の委嘱について説明をお願いいたします。

局長            資料の方、ご覧いただきたいと思いますが、学校運営協議会補充委員の推薦についてということではありますが、今ほど議第 2 号というお話がありましたけれども、関連したものが続きますので、議第 5 号まで一括で説明させていただきます。

それではまず、議第 2 号 田上町学校運営協議会委員の委嘱ではありますが、昨年度に令和 7 年 3 月 31 日までの委員の任期ということで推薦を受け委嘱をしたわけですが、その後に人事異動などによる役職の変更等で追加、それから交代等があり、ここで補充委員の推薦についての届出がありましたのでお願いいたします。まず、羽生田小学校でございますが、今回補充員としましては、羽生田小学校の同窓会長であります小林寿博さん、田上町スポーツ少年団のミニバスの方から佐藤みどりさん、最後に人事異動で来られた羽生田小学校の浅野校長先生となります。退任される方については、浅野富雄さん、山本裕一さん、最後に前校長の小野校長先生となります。資料の裏面をご覧ください。続いて、田上中学校になります。この度の校長人事の異動によりまして、新たに小野校長先生を補充員とし、退任される方は栗林前校長先生ということでお願いしたいと思います。

続いて、議第 3 号 田上町社会教育委員の委嘱についてであります。委員の変更について、田上小 P T A 会長の佐藤美希さん、羽生田小学校の浅野校長先生より新たに委員となつていただきます。次に、議第 4 号 田上町スポーツ推進委員でございますが、新たに委員となつていただく方としては、羽生田小学校の竹田先生となります。最後に、議第 5 号 田上町青少年問題協議会委員ということで、新たな委員としては、保護司会の善養寺貴洋さん、羽生田小学校の浅野校長先生、田上中学校 P T A 会長の豊田誠さんを委嘱したいと思います。

説明は以上です。

教育長            ありがとうございました。では、一括で第 2 号から第 5 号まで質疑ありますでしょうか。よろしいでしょうか。（「はい。」の声あり。）

                    ありがとうございました。

                    続いて、田上町いじめ問題調査委員会調査報告書の受け止めと対策についてということです。こちらについては、非公開という形でお願いをしたいというふうに思います。お手元に資料がありますが、田上町いじめ問題調査委員会調査報告書が提出をされ、現在、黒塗りをした上で調査報告書を公表する予定で進んでおります。

                    その辺のところ、局長から少し付け加えありますか。

局長             すみません。この議題は非公開にするんですか。報告書の内容に触れてないと思うんですけど。

教育長            報告書の内容を受けて、報告書がそのまま載っていて。

局長             でも、非公開にすると町民の皆さんから我々がどういった提言に対して、どういう取り組みを議論しているのかという、教育委員会の姿勢が議事録に載らないんで見えないと思いますが、いいですか。

教育長            いかがいたしましょうか。

局長             いいのであれば、非公開のままでさせてもらいます。

教育長            そこはちょっと迷うところですね。

石田委員         どちらがベターなんでしょうかね。載る載らないは、そんな問題発言はないんでしょうけども。ただ、載せた方が、見るものを出してベターに見えるかどうかですね。それを判断して。

教育長            議事録としてホームページに載りますので、どなたでも見える形にはなります。ただ、局長の方から心配ということで話が合った点はですね、5 月 15 日の議会全員協議会で公表に向けて準備をしてますという話をさせていただきました。それを受けて、調査委員会の報告書の中で学校及び教育委員会として取り組みもできることがあったんじゃないかという提言がありましたので、そのことについてはどうですかという質問がありました。私の方できちんともう 1 回精査をして、どういうことが考えられて、どう取り組んでいくかということをしちゃんと記録に残しますということで返答させていただきましたので、まあそれもあり、皆さんからご意見をいただきながら、きちんと受け止めて記録に残すということを今回提案させていただいたということになっていますので、それを踏まえて今後、今月中くら

いを目途に公表という形でしたっけ。

局長 6月から公表する段取りでいます。来週の月曜日になります。

教育長 ということは、この報告書自体はその時点で公表されますので、それを受けて教育委員会として、あるいは学校の取り組みも含めて、記録に残すという形になりますので、これそのものが残るというわけではなくて、どういう議論をしたかということが議事録として残るということによろしいですかね。

石田委員 ですよ。ということは、今回のこの話は非公開というか、ずらすというのが妥当でしょうかね。もう少しタイミングをずらして、何かの機会の時に話し合ったという。要するに、今日ここで話し合っただけを議事録に載せてしまうよりは、タイミングをもう少しと計った方がいいでしょうか。

教育長 議事録そのものは、議事録の確認が終わって、だいたい1ヶ月後ぐらいですかね。

局長 そうですね。早くて1ヶ月後くらい。

教育長 そうすると、すでに調査報告書公表が終わっていて、もう一度議事録を精査というかきちんと見直して、そして確認をしていただいてその上での話し合いの内容が議事録としてホームページに載るという流れになります。

石田委員 タイミング的にどうなんですか。

教育長 タイミング的には、もう既に調査報告書が公表されてホームページに載りますから、そのしばらく後ということになります。公表をすることが決定した後ということで。

齋藤委員 これから話し合うことってちょっとよく分かってないんですけど、報告書の受け止めと対策についてこの資料でいいかっていうことを話し合うんですか。

教育長 そうですね。

石田委員 じゃあ、別に、特に非公開にすることなく話し合った上で。まあ、当然、精査するんでしょうから。タイミング的には悪くないということですよ。

教育長 タイミング的には悪くないですね。

局長 私ちょっと分からないんですけど、この資料を今日初めて見たんですが、この資料は今後どこかに出すんですか。

教育長 どこかに出すつもりはないです。特に。ただ、どういうことをやりまし

たかと、また議会から聞かれるかもしれないし。

局長           今、齋藤委員がこれでいいかっていう確認ということなんですかねって  
いうお話をされて、そうだとということなんですけど。私は、これを外部に  
出す前に皆さんで議論していただいて、そしてこれを改めてどこかで出す  
のかなと思ったんですけど。これはそうすると内部資料の取り扱いという  
ことで、教育委員会を持ってるだけという考え方ですか。

教育長           そうですね。きちんともう 1 回精査をして、取り組みについて確認をし  
て記録に残してありますということになりますね。情報公開条例みたいな  
ので請求されたときに出さなきゃ駄目なんじゃないかな。

石田委員           要するに、この対策についての感想を言うのか、例えばこれに対しての  
改善点を話し合うのか、話の内容によっても随分変わってきますよね。そ  
れで、齋藤委員も言うように単純に見ての感想であれば…。そうすると、  
その調査書報告書が出る前にそれを見ていたということになりますよね。  
検討したことになりますよね。どうなんでしょう。

局長           どうされたいのかが私ちょっと分からないんですけど、この資料を今日  
ここで皆さんから確認してもらって…。

石田委員           単純に我々が共通認識としてこれを読んで、それで何かあればお話をさ  
せてもらうという程度であればいいんでしょうけど。話の内容によっては、  
ちょっと載せていいか悪いかというのは若干先が見えてこないと思うんで  
すけども。我々は逆に忖度して、差し支えないような話をするならば別で  
しょうけども。どうなんです、その辺は。とりあえず、これを見たこと  
について、我々で共通認識を踏まえながら、感想を言う程度でいいんでし  
ょうかね。

教育長           感想というよりは、ここは違うんじゃないですかというご指摘をいただ  
いた上で、修正もあり得るというふうには。

石田委員           もしも何もなければ単純にこれを見て、委員全員が納得したというふう  
になればいいわけですよ。

教育長           はい。

石田委員           その道筋でいいんですよ。はいはい、分かりました。どうでしょう、  
渡辺さん。

渡辺委員           そうですね。見ての感想ですよ。納得できればもうこれでいいと思う。

教育長           公表されていないものを審議したということがよろしくないないという

ことですよ。

石田委員       ただ、載るタイミングが公表した後なんであれば。誰が考えても物理的に…。日にちが出るんだもん。

教育長           そうですね。これが5月28日、公表が別だと。

石田委員       だから私がさっき言うように、タイミングをずらして公表するべきなのか、どうなのでしょう。

局長            どういう体でこれを作ったのか、これを作った後にどういうふうに取り扱っていくのか、外部に公表するのか、それとも公表せずに教育委員会内だけで共有していくのかっていう、その取り扱いが…。私も資料を初めて見ましたので、ちょっと分かりませんでしたけど。今、石田委員がご心配されてる、公表前に報告書の内容を委員が見てるんじゃないかっていうようなご発言もちょっとありましたけど、実際にはこの間お渡しした前回の議事録の議題の中には、田上町いじめ問題調査委員会調査報告書についてということで、もう議題に上がってます。ということは、それを議論してるんだけど、調査報告書の細かい内容については非公開ということで伏せてあります。ですので、皆さんが報告書を目にしてるっていうことは、議事録の修正がなければ、そのままホームページに上げますので。教育委員会内でも今回のいじめの事案について報告書を見てもらい、皆さんからそれぞれご意見をいただいてる、教育委員もしっかり議論してるんだなっていうことが町民の方は分かると思います。ただ、今日、非公開として取り扱うのであれば、この後どういう取り扱いにされるのか、ちょっと私分らないんですけど。提言とか課題とかっていう、報告書の中に書いてあったものを教育委員会が受け止めて、その結果、今度は委員会でこういうふうな対応していきますよ、学校にこういう指導をしていきますよっていうことを、報告書に書かれてることに対して議論し行動を起こさなければ、また教育委員会は受け取って何もしてないじゃないかという話になりませんか。ですので、私この後どうするんですかって聞いたんです。今回、非公開でやるのであればなおさらのこと。この取り扱って今後どういうふうに扱っていくのかなと。ただ内輪で協議して、中で共有して保管しておくだけなんであれば、非公開でもいいのかもしれないけど。

教育長           であれば、そもそも議題には上がるものでもないかもしれないってことですかね。

石田委員 極論すればそういうことでしょうか。ただこれは教育委員として、教育委員会として、知るべきことだとは思いますが。当然的に。ただ、それをどうするかということなんです。さっき局長が言うように、これを受けて我々の意見を多少なりとも言って、協議してみて、それでこうあって欲しいみたいなことが言えれば…。まあ、当然言うのは当たり前なんだろうけど。それだから、どこのタイミングで公表するのかって。公表するのかしないのかっていうことですよ。

だから逆に言えば、その時間をずらして公表された後に出せるような形にするしかないですよ。もしやるんだったら。

教育長 やるんだったら議事録と一緒にPDFか何かで出すってことでしょうかね。

石田委員 そういうことになりますよね。単純にいけば。

教育長 問い合わせがあった時に公表するための資料として準備をしておいたということ、そういうことが成り立つのかどうか。

石田委員 公表するための以前の、要するにゲラですよ。下書きを見てもらったというだけの話。もし下書きの時点で問題点があれば、みんなで検討して話し合おうという体になったという話であれば、それでいいんじゃないですかね。なんとなくね。その時点で逆に言えば…。あまり難しく考えない方がいいのかな。要するに下書きを皆で見て、それで検討してみて何か問題があれば、そこでもう1回検討課題としてもう1回という話でやったということになればいいと思いますよね。それで。それであればタイミングも関係ないよ。抑え込む必要もないし、この文章が何ら問題視されるような意味は持たない。

教育長 これが正文として出来上がったときにどう扱うかってことですよ。ちゃんと議論して記録に残したよというのでオッケーであれば、というためにこれを議題にしたということで、外部的にも納得できるのかどうかですよ。

石田委員 それであれば筋が通りますよね。

教育長 やってみて最後に考えると出来ませんので。局長が心配される場所もあると思って、なんかまだすっきりしないかもしれませんが。

局長 私は別に…、教育長がどう考えるのか、この取り扱いを。私は今日これを初めて見たので、内容も読んでませんし…、非公開でいくってということ

であれば非公開でもいいんですけど。ちょっと心配な面があったんで話をしましたが。

教育長           では、中身については非公開という形で取り扱させていただきたいというふうに思います。

---

(以後、非公開)

---

教育長           取り組みについて説明をしたというのが今回の議事録になるんでしょうか。内容は出さないようにしても、受け止めた対策についてという資料を基に、教育委員の皆さんに説明をしたと。

石田委員       教育委員会の方向性をしっかりと示した。

教育長           ありがとうございます。

石田委員       示したではなく、示せたですね。

教育長           (6) をここで区切らせてもらってよろしいでしょうか。長時間ありがとうございました。

(7) 諸報告に入ります。お願いいたします。

局長           最後になりますが、資料ご覧いただきたいと思います。令和 6 年度田上町教育委員学校・園計画訪問実施要綱（案）ということで用意させていただきました。

すでに、委員の皆さんの方には日程の確認をさせていただいていたところでございますが、今年度は6月28日の金曜日、学校・園計画訪問を実施したいと思っております。今年度の周り順は、最初に中学校、続いて竹の友幼稚園、その次に羽生田小学校へ行きまして、ここで児童と給食を取る予定でおります。最後に田上小学校に行きまして、終了予定として午後 3 時頃を予定しております。これでご都合よければ、明日にでも学校の方に案内しまして準備をさせていただきたいと思っております。

石田委員       もしも、無理じゃなかったら給食なんですけれども、毎回ご飯をいっぱい出されるんですね。できればもう少しご飯を少なくしてもらえると助かるんだよな。子どもと喋ると食べる時間ないんですよ。学校の方は気を使ってくれて、いっぱい盛ってくれるんですよ。その場で言ってもいいのかな。ご飯を少なめにと。

渡邊委員 去年、田上小学校の時は、どのくらい入れますかって聞かれたような気がするんですよ。

局長 確か給食棟で全体で食べてましたよね。そこで配膳してたはずなんですけど。羽生田小はクラスで食べたんです。

渡邊委員 羽生田小はランチルームでしたよね。

局長 私は低学年だったんですが、教室に入りました。3年生から6年生はランチルームだったと思います。

渡邊委員 子どもがいると残すわけにいきませんよね。

石田委員 その場で言ってもいいのであれば。

局長 教頭に言っておきます。

教育長 では、学校・園計画訪問を6月28日ということをお願いいたします。他の報告ありますか。

局長 ありません。

教育長 その他、ありますでしょうか。

局長 ありません。

教育長 では、6月28日の学校・園計画訪問が終わった後に、定例教育委員会という予定でお願いします。

用意した議題は以上であります。皆様の方でいかがでしょうか。なければ、第5回田上町教育委員会定例会を閉会いたします。